

発行／三原市人権推進課
編集／三原市大和人権文化センター
住所／三原市大和町下徳良107番地1
電話／0847-33-1308

三原市大和人権文化センターだより

第3回人権学習会のお知らせ

日時

令和元年（2019年）12月7日（土）10:00～11:30

場所

大和人権文化センター 2階集会室

演題

「今日の差別の実態と『部落差別解消推進法』の意義」

講師

NPO法人 ゆにばーさる 理事 山下 真澄 さん



※ 講演後、そば打ち教室のみなさんが作った、打ちたてのそばの試食があります

第2回目の人権学習会を開催しました。
向島手をつなぐ親の会顧問相談役の三木郁子さんを講師にお迎えし、「家族を通して見える人権」として学習会を行いました。
障がいのあるわが子の子育てを通して、障がい者が世間から排除される実態。また、認知症の母親の17年間の介護体験や、介護認定制度の負担矛盾。今日の社会の背景にある、いじめ・児童虐待・子どもの貧困・格差社会などについて話されました。
「人権」とは、人間が人間らしく生きる権利で生まれながら持つ権利であり、誰にとっても身近で大切なもの、違いを認め合う心によって守られるものです



生花教室

日時 12月25日(水) 13:30～15:30
講師 西川 千代美さん
教材費 2,000円程度
持参物 剣山、花ハサミ、ノート
※生花の準備がありますので、申し込みは12月18日(水)までをお願いします。



オカリナ教室

日時 12月12日木曜日
時間 13:30～15:00
講師 岡谷 豊子さん
※教材費等は個人負担となります。



人権相談

人権侵害や差別などでお悩みの方は、人権相談員にご相談ください。

相談は無料で秘密は守られますので、気軽に相談してください。

- 相談日時 土・日・祝日は除く 10:00～16:00
- 場所 三原市大和人権文化センター
- 電話 0847-33-1308

～登録型本人通知制度へ登録を～

大和地域センター心配ごと相談のお知らせ

日時 12月20日(金) 9:00～12:00
場所 大和人権文化センター 会議室
相談内容 くらしの相談・人権の相談
相談員2名で対応します。次回は、1月17日(金)の予定です。

電話による相談も受け付けています。
大和人権文化センター(0847-33-1308)

さわやか健康体操のお知らせ

日時 5日(木)・12日(木)・19日(木)
13:30～14:30
持参物 バスタオルなど床に敷くもの

問い合わせ先 高齢者福祉課(0848-67-6055)

7 編集後記



100万ドルの笑顔

ふるさとだいわ それは緑にあふれた町

愛する人をつれて そのふるさとに帰りたい

けれどふるさとを隠しくらしに怯えて

ふるさとを忘れたふりをする

年老いた父や母を気遣いながら

愛する人をつれて そのふるさとに帰りたい

堂々と

そしてキクヨさんは帰った そのふるさとに

そのふるさとの人々に支えられて

ひとりひとりが認められる

ひとを中心にしたふるさとでありたい

『サヤ スダバレー』(わたし帰ってきました)

愛する人をつれて そのふるさとに帰りたい

堂々と高く

ふるさとだいわ それは緑にあふれ 活気にあふれ

ひとりひとりが大切にされる

ひとを中心にした ふるさと

キクヨさんの77年の軌跡をたどると、波乱万丈の人生であったと思います。

その中で、生まれるときから厳しい部落差別を背負って生きてきました。

運がわるいのは、生まれた運命とあきらめ愚痴をこぼさない、人に親切を与えるだけで自分は何も要求しない

そう胸の中で、自分に言い聞かせながらキクヨさんは、笑顔を絶やさなかったと思います。

編集を重ねるごとに、部落差別は陰湿で生易しいものではなく平安時代中期頃まで遡り、700年以上差別がいまだに続いていることがわかりました。

部落差別を作ったのも日本人、これを是正したのも日本人『差別を時は解決してくれない、人しか解決できない』

私たち一人ひとりが周りにあわせ態度を決めるのではなく、自分の頭で考え同和問題を理解し『差別しない、差別を許さない』という認識を持って行動することが、大切だと思います。

参考資料(抜粋)

大和町「人権の碑」記録集 キクヨさんはみつめる 平成17年(2005年)大和町
「からゆきさんおキクの生涯」大場 昇 平成13年 明石書店